

## 安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

○進捗割合=目標値/実績値 ○進捗区分 「順調」: 目標値以上 / 「概ね順調」: 80%以上100%未満 / 「努力を要する」: 80%未満

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分												
							H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1		5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く					
1	「新たな雇用を生み出す」 (数値目標)	新規就農者数(年間) (人) 〈農政課調〉	農政課			◆高齢化による農家の減少は今後も進むと予想される。地域農業の活性化のためにも、引き続き新規就農者の確保を図るとともに、小規模兼業農家なども含め農業関係人口の増加を図っていく必要がある。  【第2期に継承(KPI)】	目標値	-	-	12	13	14	15人		新規就農54人				
							実績値	10	10	10	概ね順調	8	努力を要する	5	努力を要する	28人 が就農	努力を要する		
2	「新たな雇用を生み出す」 (数値目標)	市内企業の就業者数 (人) 〈工業統計調査〉	商工労政課			◆市内での事業活動が、企業にとって魅力あるものとなるよう、引き続き、企業活動の支援策や創業支援、産業団地の整備など総合的な施策展開を図っていく。  【第2期に継承(数値目標)】	目標値	-	-	10,550	10,700	10,850	11,000人		市内就業 43,100人				
							実績値	10,191	10,399	10,399	概ね順調	10,825	順調	11,564	順調	11,653	順調	44,441 人が就業	順調
3	1 1 1	農家民宿受入生徒数 (人) 〈農政課調〉	農政課	◆農家民宿に都市部の中高生等「1,334人」を受け入れた。 〈内訳〉 国内の中学・高校・・・11校1,177人 中国の学校・・・・・・3校114人 城西国際大学(東金市)・・・26人 台湾観光局視察団・・・・17人 ・江戸川区の中学校の先生を招き、市内農家等を対象に、農家民宿の体験談をテーマに講演 ・先進事例として参考とするため、上水内郡信濃町で、教育旅行ホームステイを推進する「(一社)Framstayしなの」を視察	◆都市部の中高生等の受け入れにより、農業体験(将来の就農に期待)、安曇野の魅力の発信、農家所得の向上を図った。 ◆また、H30年4月から着任した「地域おこし協力隊」が中心となり事業推進を図った結果、KPIを大幅に上回るかたちで実績が推移、受入農家も年々拡大している。農業振興だけでなく、都市圏等の子どもたちと農家をつなぐ好事例となっている。 ・国内だけでなく中国より5回受け入れ。(参考)受入農家数 H27・・・35戸 H28・・・55戸 H29・・・57戸 H30・・・65戸 R1・・・73戸	◆中高生の受け入れを基軸として、訪日や一般の受け入れにも対応できるよう、受入体制を整備していく(農家の確保など)。 ◆農家民宿に係る事務のうち主に営業に関する部分は、ノウハウのある民間事業者への委託を検討。  【第2期に継承(KPI)】	目標値	-	-	700	800	900	1,000人		農家民宿に 3,400人受入				
							実績値	-	557	1,155	順調	699	概ね順調	1,013	順調	1,334	順調	4,201 人を受け入れ	順調

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分													
							H26 基準値	H27	H28		H29		H30		R1		5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く			
4	1	1	2	海外輸出農産品（品目） ＜農政課調＞	農政課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆マレーシアの輸入業者等を市に招聘。わさび、日本酒、米等の特産品の売り込みを実施した。</li> <li>◆海外向けのPR素材として「日本酒」のプロモーション映像を制作。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆国庫補助「地方創生推進交付金」を活用し、海外への販路拡大に挑戦した。</li> <li>・「わさび」：SNSを活用した商談等により、イギリス、フランス、アメリカ、韓国等への販路開拓に成功。</li> <li>・「日本酒」：安曇野地域の3つの酒蔵が連携し、マレーシア、オーストラリア等の事業者と取引に向けた関係を構築。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆現在、新型コロナウイルス感染症の影響で、海外への渡航が困難なことから、SNSを活用した情報発信や販路開拓を検討する。</li> <li>◆長野県の取り組みと連携していく。</li> </ul>	目標値	-	-	1	1	1	R1		1品目		海外販路開拓 目標 1品目	
									実績値	0	1	1	順調	2	順調	2	順調	2	順調	2
5	1	1	3	親元就農者を含む年間の新規就農者数（人） ＜農政課調＞	農政課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各種給付金事業により、新規就農者の営農を支援。</li> <li>・農業次世代人材投資資金（国：150万円/年 最長5年間）</li> <li>・親元就農支援金（市：20万円/年 最長5年間）等</li> <li>◆就農相談から個々の就農計画の作成等まで、幅広い新規就農者支援対策を実施。</li> <li>◆移住セミナーの開催と合わせた就農相談会を実施。</li> <li>◆農業体験や半農半X・就農支援など農業全般に関する情報を分かりやすく紹介する「農ある暮らしチラシ」を作成した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆親元就農を含めた新規就農者数は、5年間延べ52人であった。</li> <li>・農業次世代人材投資資金：5年間で、延べ34人に交付</li> <li>・親元就農支援金：5年間で延べ55人に交付</li> <li>◆就農相談から個々の就農計画の作成等まで、幅広い新規就農者支援対策を実施した。</li> <li>◆移住部局と連携した就農相談会の実施、首都圏等での就農相談会でのPRを実施し、就農者の確保を図った。</li> <li>◆「農ある暮らしチラシ」により就農者の確保を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高齢化による農家の減少は今後も進むと予想される。地域農業の活性化のためにも、引き続き新規就農者の確保を図るとともに、小規模兼業農家なども含め農業関係人口の増加を図っていく必要がある。</li> </ul>	目標値	-	-	12	13	14	R1		15人		親元就農含め 54人	
									実績値	15	10	10	概ね順調	10	努力を要する	12	概ね順調	10	努力を要する	親元含め42人が就農
6	1	1	4	林業従事者数（人） ＜林業事業体調査（長野県）＞	耕地林務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆林業従事者数の増加に向けた取組として、間伐事業や松くい虫被害対策のためのくん蒸処理等を委託して労働の場を提供してきたが、実績値は昨年度に比べ3人減って、45人と下がってしまった。</li> <li>◆業界全体として労働者不足に陥っており、労働者の確保に苦慮している。林業労働財団の職業説明会においても、新卒就労希望者は少なく、県外の他業種からの転職希望者が若干みられる程度で、林業従事者数は低迷している状況である。</li> <li>◆KPIの進捗区分は、統一ルールに沿い判定されるため「概ね順調」と評価されているが、林業を取りまく環境は依然として厳しい状況である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆引き続き、森林整備による間伐や松くい虫被害対策事業の委託業務により労働の場を提供していく。</li> <li>◆新たに創設された森林環境整備のための森林環境譲与税による森林整備事業の実施。</li> </ul>	目標値	-	-	55	56	57	R1		57人		林業従事者 225人		
								実績値	53	53	54	概ね順調	53	概ね順調	48	概ね順調	45	概ね順調	200人が従事	概ね順調

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分											
							H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1		5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く				
7	1 2 1	新規起業数(人) ＜商工労政課調＞	商工労政課	<p>◆「空き店舗等活用促進事業」による家賃補助(家賃相当額の1/2、月額上限5万円、交付期間3年)</p> <p>◆若者及び女性の起業支援事業の実施(35歳未満の男性及び女性が起業する場合、対象経費と店舗家賃を助成)</p> <p>◆創業実現セミナーの開催(創業に向けた具体的な知識習得の場としてセミナーを計5回開催)</p>	<p>◆空き店舗等活用促進事業の活用は62件(うち9件は経営不振等で閉店)。</p> <p>◆若者及び女性の起業支援事業の活用は28件、うち10件が空き店舗を借りて起業。R1末現在、2つの事業で60軒の空き店舗が再活用され、商店街の賑わいの一端を担っている。</p> <p>◆創業実現セミナーの受講者は103人で、起業に関心がある方に好評となっている。</p>	<p>◆若者及び女性の起業支援事業はR1年度末で終了。</p> <p>◆空き店舗等活用促進事業は、補助終了後の定着率等を考慮し、R1年度からは交付期間を2年、R2年度には1年に段階的に縮減して終了。</p> <p>◆これまでの成果や政策課題を踏まえ、新たな制度の検討に着手していく。</p> <p>【第2期に継承(KPI)】</p>	目標値	-	-	5		6		7	7人		25人起業	
							実績値	5	4	11	順調	20	順調	17	順調	13	順調	支援実績61人
8	1 2 2	市内企業の就業者数(人) ＜工業統計調査＞	商工労政課	<p>◆企業支援や誘致のための各種補助事業等を実施</p> <p>＜具体的事業の例＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工場用地取得や工場等建設に対する資産税相当額の補助や空き工場の家賃補助</li> <li>産業振興ポータルサイトで経済活動に役立つ最新情報の掲載、発信。</li> <li>工業振興連携推進協議会を5回開催し、ビジョンの評価と検証を実施。加えて、製造業事業者を対象にアンケート調査も実施。それらの結果を踏まえ、第2次安曇野市工業振興ビジョンを策定した。</li> <li>あづみ野産業団地拡張事業は、地権者・耕作者交渉、地元説明、関係団体・機関、庁内部署及び進出予定企業との協議を重ねた。地質調査・測量業務・基本設計を実施し、実施設計に着手した。</li> </ul>	<p>◆助成制度を利用した市外からの新規事業者は5年間で11社。</p> <p>◆H28年8月に産業振興ポータルサイトの運用を開始し、経済活動に役立つ最新情報を定期的に発信することができた。R1年度末までの累計閲覧数は10,532件、登録事業者は72社となっている。</p> <p>◆工業振興連携推進協議会においてR1年度までの10年間を計画期間とする工業振興ビジョンの評価と検証を実施し、R2年度を始期とする第2次安曇野市工業振興ビジョンを策定した。</p> <p>◆H29年8月にあづみ野産業団地の未分譲1区画を売却したことにより市内7か所全ての産業団地の分譲区画を完売した。</p> <p>◆H30年度から地域未来投資促進法を活用したあづみ野産業団地拡張事業を進めている。</p>	<p>◆各種補助事業は、交付実績等を踏まえ、補助金の見直し等を検討。</p> <p>◆産業振興ポータルサイトの利用促進。</p> <p>◆工業振興連携推進協議会において工業振興ビジョンの評価と検証を実施し、総合的な企業支援策を展開する。</p> <p>◆あづみ野産業団地拡張事業を遅滞なく進めるとともに、新たな工業団地の開発手法と候補地を選定していく。</p> <p>【第2期に継承(数値目標)】</p>	目標値	-	-	10,550		10,700		10,850	11,000人		市内就業43,100人	
							実績値	10,191	10,399	10,399	概ね順調	10,825	順調	11,564	順調	11,653	順調	44,441人が就業
9	1 2 3	建設業資格取得者数(人) ＜監理課調＞	監理課	<p>◆対象者への事業案内及び募集。資格取得者に対し、補助金を交付した。</p> <p>・R1年度に本事業について、市内119社を対象に「貴社の活性化に寄与したか」等の4項目についてアンケートを実施したところ28社の回答があり、特に「貴社の経営と雇用の安定に繋がったか」については、「繋がった」が82%であった。</p>	<p>◆資格市内建設業に係る技術者の人材育成を図ることで、建設業者の経営と雇用の安定を目指し、資格取得者に対し補助を実施した。</p> <p>＜実績＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28 申請者32人 合格者13人</li> <li>・H29 申請者36人 合格者9人</li> <li>・H30 申請者47人 合格者16人</li> <li>・R1 申請者54人 合格12人</li> </ul>	<p>◆本事業実施以降、申請者及び合格者が順調に伸びており、本年度も昨年度以上の申請がある見込みである。</p> <p>◆申請数とアンケート結果から、市内建設業関係者への支援として継続実施が妥当と判断。事業継続に向け検討している。</p> <p>【第2期への掲載を検討】(資格の有無が受注・雇用に直結)</p>	目標値	-	-	7		14		21	累計30人		資格取得者累計30人	
							実績値	-	0	13	順調	22	順調	38	順調	50	順調	50人が資格取得

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分									
							H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く			
10	1 2 3	創業支援・人材育成セミナー受講者数(人) ＜商工労政課調＞	商工労政課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「創業実現セミナー」：創業に向けた具体的な知識習得の場としてセミナーを計5回開催。</li> <li>◆「人材育成セミナー」：経営力の強化又は技術力の向上を目的とした人材育成の研修に対し補助を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆創業実現セミナーの受講者は103人で、起業に関心がある方に好評となっている。</li> <li>◆人材育成事業の補助金は5年間で6社が利用している。(人材育成セミナーは専門性が強いいため、安曇野工業会に依頼している)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆創業実現セミナー：起業を目指す人向けの技術的な講義は専門的要素があるため、引き続き商工会と連携し、多くの起業を生み出すよう取り組んでいく。</li> <li>◆人材育成セミナー：指定された公的機関が実施する研修を受けた場合に補助対象としており、今後も継続支援する予定。</li> </ul>	目標値	-	-	50	60	70	70人	創業・人材育成セミナー受講者 250人		
							実績値	34	46	150	順調	115	順調	103	順調	46
11	1 2 4	移転事業者数(社) ＜商工労政課調＞	商工労政課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中小企業者等が空き工場を賃借して事業を営む場合に家賃の一部を助成。R1年度の新規は1件であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆5年間で23社がこの事業を利用し、そのうち市外からの誘致は7社。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆空き工場の家賃補助により、安曇野市に移転してきた企業や、市内で手狭になり広い場所を求めて事業拡大した企業もあるので、効果は十分発現されている。</li> <li>◆一方で、企業の誘致、留置という観点では必要であるが、紹介できる空き工場のストック、情報がない点が課題となってきている。</li> </ul>	目標値	-	-	1	1	1	0 (累計3社)	移転目標3社		
							実績値	-	0	4	順調	2	順調	0	努力を要する	1
12	1 3 1	「信州安曇野の旅」ページビュー(閲覧数) ＜HPアクセスログ＞	観光交流促進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公式観光サイト「信州安曇野の旅」の運営にあたり観光協会、商工会等と連携し、掲載情報の新鮮さやインバウンド等を意識した情報発信に取り組んだ。</li> <li>・季節毎の景色や市内で開催されるイベント情報</li> <li>・登山口の状況などの受入体制の情報の更新</li> <li>・訪日外国人向けにワサビや道祖神等の地域資源等</li> <li>◆映画やCM、テレビ番組等へのロケ支援を通じ、安曇野のイメージアップと誘客に向けたメディア掲出を図った。</li> <li>◆首都圏、中京、九州各地での観光PRのほか、旅行雑誌、新聞、Web雑誌等、ラッピングバス、SNS広告等複数の媒体によるPR活動を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公式観光サイトに観光情報を集約し、観光のポータルサイトとしての機能強化を図った。</li> <li>◆従来の首都圏等でのPR活動や、紙媒体を中心とした広告掲出だけでなく、Web雑誌や動画などの新たな媒体、SNS広告等を導入してきた。</li> <li>・Instagram等SNSの活用や山岳観光PR動画等により、観光協会Instagramフォロワーが開設後3年間で6,500人となっている。</li> <li>◆ロケ支援により、旅情報番組での来訪先、映画等のロケ地として取り上げられ、多数のメディア掲出につながった。</li> <li>・(実績)映画「オレンジ」「高台家の人々」「サヨナラまでの60分」など、ドラマ「山女日記」「蝶の山脈」など、テレビ番組「バナナマンのせっかくグルメ」ほか旅情報番組多数、年間20～30件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆県観光機構等のビッグデータを活用し、消費動向等を分析し、観光振興のためのビジョンを立てる。</li> <li>◆アウトドア(北アルプス登山・トレッキング・キャンプ・自転車)、天蚕等の地域資源を活かした体験メニューを充実させていく。</li> <li>◆Web雑誌やSNS、動画等を活用したプロモーション活動を継続する。</li> </ul>	目標値	-	-	260万	267万	273万	280万PV	HP閲覧数280万回		
							実績値	247万	232万	190万	努力を要する	196万	努力を要する	121万	参考値 ※計測エラー	204万

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分									
							H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1		5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く		
13	1 3 2	観光経済波及効果（億円） ＜長野県観光統計＞	観光交流促進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆パンフレットの配布、雑誌やメディアなどへの<b>広告掲出</b>や広域団体連携による<b>観光PR</b>などによる<b>情報発信</b>。</li> <li>◆「朝が好きになる街」VI事業の一環として市観光協会と共催で<b>インスタグラムフォトコンテストを開催</b>。</li> <li>◆広域観光推進団体事業（日本アルプス観光連盟、松本空港利用促進協議会等）による<b>観光キャラバン、ファムトリップ（メディア等を対象とした市内視察旅行）を実施</b>した。</li> <li>◆<b>教育旅行向けに宿泊バス助成事業を実施</b>した。</li> <li>◆「信州安曇野ハーフマラソン」、「信州安曇野花火」等イベントの開催。</li> <li>◆新そばと食の感謝祭などと合わせ、「林檎ナポリタン」や「やさいスイーツ」等の<b>食の魅力</b>を発信。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「安曇野流おもてなし」がコンセプトの「<b>安曇野ハーフマラソン</b>」や、スポーツと観光の融合「<b>信州安曇野ロゲイニング</b>」、期間限定イベント「<b>信州安曇野田んぼアート</b>」等を開催。来訪者の満足度、リピーター率の向上と、交流人口拡大を図った。</li> <li>◆「新そばと食の感謝祭」、「林檎ナポリタン」、「やさいスイーツ」等、<b>食の魅力による誘客、域内消費の促進</b>を図った。</li> <li>◆誘客や旅行会社からの送客を促すため、<b>広域観光推進団体事業による首都圏等のPR活動、観光キャラバン、旅行会社の招請等</b>を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆No12に記載（観光消費額は伸びている。さらに周遊型、滞在型観光を推進していく）</li> </ul> 【第2期に継承（KPI）】	目標値	-	-	198	203	209	214億円		観光経済波及効果824億円	
							実績値	188	181	184	概ね順調	198	概ね順調	204	概ね順調	193
14	1 3 3	外国人宿泊者数（人） ＜長野県観光統計＞	観光交流促進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆観光分野における自転車活用と、2次交通充実のため、市観光協会による<b>シェアサイクル導入実証実験事業</b>を実施。外国人旅行者の活用も図られるよう、<b>モデルコースの設定</b>も行った。</li> <li>◆訪日外国人の受入促進策として、観光協会や宿泊事業者による営業活動や、現地向けWeb雑誌等による海外プロモーション事業を実施した。</li> <li>◆受入体制整備に向け、<b>近隣のインバウンド滞在地からのテストツアー造成、英語登山ガイド養成講座</b>を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆二次交通として、<b>定額制タクシーの運行や、シェアサイクル実証事業</b>を実施した。</li> <li>◆平成28年度基礎調査を活用し、山岳観光、平地観光、各分野においてターゲット国と地域を設定し、観光協会や宿泊事業者による営業活動や受入体制の充実を図った結果、団体客を中心に<b>外国人延べ宿泊者数が増加</b>した。</li> <li>◆観光協会多言語サイトや、現地向けWeb雑誌への投稿記事等にも一定のアクセスがあり、<b>穂高駅前観光情報センターへの外国人個人旅行者の来訪も増加</b>した。</li> <li>◆外国人旅行者向けにスマートフォン向け観光アプリの導入や、観光情報センターなど市内5ヶ所に観光用Wi-Fiを整備したほか、県補助事業を活用し、Wi-Fi設置希望する市内宿泊施設3ヶ所への導入を支援した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆団体観光から個人旅行化が進む中で、市内での消費を高めるため、<b>滞在型観光を推進</b>し、必要な具体的事業を実施していく。</li> <li>◆これまでの調査事業等を基に、プロモーション活動と併せ、<b>英語登山ガイド養成や、近隣の訪日外国人滞在先から誘客する体験メニュー、宿泊ツアーの造成等</b>を、関係団体との連携で推進していく。</li> </ul> 【第2期に継承（KPI）】	目標値	-	-	8,000	9,000	11,000	13,000人		外国人延泊者数 41,000人	
							実績値	6,000	7315	16,305	順調	21,210	順調	23,374	順調	28,625 ※統計未発表のため参考値
15	1 4 1	異業種連携による起業数（商品数）（件） ＜商工労政課調＞	商工労政課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域資源活用型連携推進モデル型事業：農工商連携のモデル事業として、新たな地域資源「<b>ホップ</b>」の生産から<b>クラフトビールの製造に至るまでの異業種連携を推進</b>。本取組の中核的役割を担う「地域おこし協力隊」を募集したが採用に至らなかったため、市の「産業支援コーディネーター」のフォローを受け、ホップ生産者とビールを醸造する企業の連携を確立した。</li> <li>◆地域資源活用型連携推進事業：農林漁業者と商工業者の連携事業に対し補助対象経費の5/10を補助する制度であるが、R1は申請がなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆<b>地域資源活用型新商品開発推進支援モデル事業補助金は、H28年度1件のみ（クラフトビール製造）</b>。</li> <li>◆<b>地域資源活用型農工商等連携推進事業補助金は5か年で5件活用</b>（安曇野産規格外果実の加工品開発等）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆制度周知に努めているものの連携の難しさから事業申請につながらない。</li> <li>◆本補助制度について、工業系の新製品・新技術開発支援事業との統合を検討。</li> </ul>	目標値	-	-	6	10	13	累計15件		異業種連携数 15件	
							実績値	1	2	9	順調	11	順調	12	概ね順調	12

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分													
							H26 基準値	H27	H28		H29		H30		R1		5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く			
16	1	5	1	本市における安曇野インター周辺地域の位置付け ＜都市計画課調＞	都市計画課	◆民間主導での開発に対して、土地利用の観点から助言を行うとともに、円滑に事務が進むよう、庁内の関係課との打ち合わせ等を実施した。  ◆開発手法について土地利用制度の観点から助言を行った。 (主な経過) ・平成28年7月11日、開発予定区域の地権者で構成する「南花見田まちづくり協議会」が設立され、その後ワークショップや、市職員による農地法、農振法、土地利用条例等の勉強会の開催を経て平成28年9月5日、地権者の総意により、「まちづくり基本方針」が決定されている。	◆条例に基づく「地区土地利用計画」の策定に向け、引き続き助言等をするともに、必要な事務を進める。	目標値	-	-	-	-	-	-	-	-	都市機能を誘導する地域としての位置付け		優良農地→都市機能を誘導する地域としての位置付け	
								実績値	優良農地としての位置付け	なし (検討開始)	なし	順調	なし	順調	なし	順調	なし	順調	なし	努力を要する
17	1	5	2	開発に係る市民の合意形成 ＜都市計画課調＞	都市計画課	No16のとおり	No16のとおり	No16のとおり	目標値	-	-	-	-	-	-	-	形成		開発に係る市民の合意形成	
									実績値	なし	なし	なし	順調	なし	順調	なし	順調	なし	順調	なし
18	1	6	1	再生可能エネルギー活用事業所 ＜耕地林務課調＞	耕地林務課・政策経営課	◆市内温浴施設等への木質チップボイラー導入により、地域森林資源の有効活用と地球温暖化防止対策等が図れるか調査を実施（市内5つの公共・民間の温浴施設で導入可能性を評価）。 ◆調査の結果 ・ある施設でボイラーを導入した場合、木質チップの消費量は、年間1,241 tであった（十分な資源量があるものと判断できた） ・ボイラー導入の場合、地球温暖化への効果として850 t-CO2/年が確認できた ・副次的効果として、経済波及効果、雇用創出、防災減災効果など ・ただし、木質チップの調達単価が高いことがネック（12,000円/t程度が望ましい）となっているため導入時期については見定める必要がある。	◆主な取組として左欄に記載	◆調査の結果、木質チップボイラーの導入効果は確認できたが、チップの流通と単価（安定的な供給体制）が導入にあたってのネック。導入時期について見定めていく必要がある。	目標値	-	-	0	0	0	0	0	1事業所以上		再生可能エネルギー活用事業所1事業所以上	
									実績値	なし	なし	0	順調	0	順調	0	順調	0	順調	0

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分												
							H26 基準値	H27	H28		H29		H30		R1		5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く		
19	「若者や女性が活躍できるまちをつくる」 (数値目標)	小学生以下の子どもがいる 移住者世帯数(年間) (世帯) ＜政策経営課調＞	政策経営課 他			◆移住相談等の実施後、当該年度中に移住するとは限らないため、単年度だけではなく継続的に実績を確認していく必要がある指標。移住支援については、将来的に移住につながる、 <u>安曇野ファン(関係人口)の創出に向けた事業展開を図っていく。</u>  【第2期に継承(KPI)】	目標値	-	-	5		7		10		10世帯		32世帯受入れ	
							実績値	-	2	4	概ね順調	14	順調	7	努力を要する	4	努力を要する	29世帯受入	概ね順調
20	「若者や女性が活躍できるまちをつくる」 (数値目標)	若者・女性の起業者数(累計)(人) ＜商工労政課調＞	商工労政課 他			◆若者及び女性の起業支援事業はR1年度末で終了。 ◆これまでの成果や政策課題を踏まえ、 <u>新たな制度の検討に着手していく。</u>  【第2期に継承(KPI)】	目標値	-	-	5		0		0		累計5人		若者・女性の起業者数 5人	
							実績値	-	6	5	順調	7	順調	15	順調	19	順調	延19人支援	順調
21	2 1 1	奨学金受給者で市内Uターン者数(人) ＜学校教育課調＞	学校教育課	◆子どもたちの教育を受ける機会の均等を図るため、高校、大学、専修学校等への入学に要する費用の調達が困難な保護者に対し、 <u>入学準備金(限度額10万円～60万円)を無利子で貸与した。</u> ・R1年度実績：4件、2,080,000円の貸付	◆H28年～R1年の間で <u>35人に対し、15,960,000円の貸付</u> を行った。	◆入学準備金の対象となる子どもの世帯に対する周知の強化。 ◆滞納を未然に防ぐためにも、通知、面談等を頻繁に行う。 ◆ <u>貸付条件等の緩和を検討する。</u>	目標値	-	-	0		0		10		10人		Uターン20人	
							実績値	-	0	0	順調	0	順調	3	努力を要する	4	努力を要する	Uターン7人	努力を要する

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値／実績値・進捗区分											
							H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1		5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く				
22	2	2	1	<p>移住希望者の受け皿組織による移住相談受付数（件）</p> <p>&lt;政策経営課調&gt;</p>	<p>政策経営課</p>	<p>◆移住セミナーや移住体験会の開催、おためし住宅の貸出、空き家バンクの充実、安曇野暮らし支援協議会の運営等。</p> <p>◆KPIは未達成となったが、移住相談件数が大きく減ったわけではなく、相談記録表に記録しきれなかったケースが存在している。</p>	<p>◆移住セミナーや移住体験会の開催、おためし住宅の貸出、空き家バンクの充実等に取り組んできた。行政のサポートによる移住者も毎年数十人になり、一定の成果を得ることができている。</p> <p>◆当市の社会増は年毎の波はあるが、いずれも県内トップクラスで推移している。</p> <p>&lt;市の社会増／年間&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28 +20人（社会増減率 19市中6位）</li> <li>・H29 +427人（社会増減率 19市中1位）</li> <li>・H30 +262人（社会増減率 19市中2位）</li> <li>・R1 +171人（社会増減率 19市中3位）</li> </ul>	<p>◆移住相談等の実施後、当該年度中に移住するとは限らないため、単年度だけではなく継続的に実績を確認していく必要がある指標。移住支援については、将来的に移住につながる、安曇野ファン（関係人口）の創出に向けた事業展開を図っていく。</p> <p>【第2期に継承（KPI）】</p>	目標値	-	-	80	100	120	120件		移住相談420件受付	
									実績値	-	57	128	順調	121	順調	110	概ね順調	64
23	2	2	2	<p>移住・定住希望者向けの空き家情報物件数（件）</p> <p>&lt;政策経営課調&gt;</p>	<p>政策経営課</p>	<p>◆空き家バンクの活性化及び利用促進のため、環境課が実施した空家実態調査で空き家の「利活用」を希望された所有者のうち、同意が得られた86件について、空き家バンク仲介事業者に対し情報提供を行った（空き家所有者と仲介事業者のマッチング）。</p> <p>◆KPIは未達成となったが、市空き家バンクへの空き家の掲載物件数を順調に増やすことができた。</p> <p>・空き家バンク利用登録者</p>	<p>◆市空き家バンクサイトへの空き家物件の登録は、当初と比較して大きく増加し、移住希望者への物件情報の提供が図られた。</p> <p>【第2期に継承（事業）】</p>	目標値	-	-	10	30	40	50件掲載		空き家情報130件掲載		
								実績値	-	0	8	概ね順調	34	順調	38	概ね順調	40	概ね順調
24	2	2	3	<p>記念樹等交付事業交付本数（本）</p> <p>&lt;建築住宅課調&gt;</p>	<p>建築住宅課</p>	<p>◆交付対象者への周知漏れがないよう、広報の手法を工夫しながら市内の緑化推進と市民の慶事を祝うための記念樹を交付した。</p> <p>◆525件の申請を受け付け、記念樹交換券を発送し、620本の記念樹が交換された。</p> <p>（広報実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市HP、広報あづみの、新聞、ラジオ等での事業周知</li> <li>・市内小学校への案内チラシ、交付申請書を配布(960部)</li> <li>・H30年度出生した子の保護者に案内チラシ、交付申請書を配布(559部)</li> </ul>	<p>◆5年間で合計3,082件の申請があり、3,680本の記念樹を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付した記念樹は、市内の住宅地に植栽されており、緑化率の向上が図られた。</li> <li>・記念樹を大切に育てていただくことが緑に親しみきっかけとなり、市民の緑化意識の向上が図られている。</li> </ul>	<p>◆緑化推進にあわせて、市民の大切なライフイベントをお祝いする市独自の事業として、今後も継続して実施するため事業内容を検討している。</p> <p>【第2期への掲載を検討】（資格の有無が受注・雇用に直結）</p>	目標値	-	-	1,524	1,894	1,894	1,894本		記念樹7,206本配布	
									実績値	-	730	782	努力を要する	803	努力を要する	745	努力を要する	620

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分											
							H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1		5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く				
25	2	3	1	<p>婚活イベント参加者数（人／年）</p> <p>&lt;長寿社会課調&gt;</p>	政策経営課	<p>◆結婚相談事業として、<b>婚活イベントとイベント当日に向けての事前セミナーを実施した。</b></p> <p>&lt;実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 商工会穂高支所・権現宮マレットゴルフ場 男性23名、女性8名 カップリング3組</li> <li>・第2回 商工会穂高支所・穂高神社 男性24名、女性27名 カップリング12組</li> <li>・第3回 新型コロナウイルス感染症予防のため中止（申込は100名以上であった）</li> </ul> <p>◆イベントの他、お見合いや個別相談への対応、長野県が運営する「ながの結婚マッチングシステム」による結婚支援を実施した。</p>	<p>◆結婚支援に関する事業は少子化対策として多くの自治体が取組んでいるが、中々結婚に結び付けることができないといった課題がある。</p> <p>◆結婚相談事業として、5年間毎回工夫を凝らしながら、<b>婚活イベント16回実施。イベントでのカップリング率は高い水準をキープ</b>しており、人気が高い（カップリング率：民間調査では平均11.1%、この事業は約35%）</p> <p>&lt;結婚数&gt; ※結婚報告は任意のため市での把握数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H27 2件</li> <li>・H28 0件</li> <li>・H29 3件</li> <li>・H30 4件</li> <li>・H31 5件</li> </ul>	<p>◆本市の取組は、優良事例となっており、他自治体等からの視察の申し入れもある。</p> <p>◆一方で、きめ細かなサポートを心掛けて来た結果、夜間・早朝・休日の相談が増加し、スタッフの負担が増大している。</p> <p>◆<b>事業継続の観点から、特に負担の大きい個別相談は見直しする方向とし、他の方策を練る。</b></p> <p>【第2期へ継承（事業）】</p>	目標値	-	-	120	120	120	120人		婚活イベントに480人参加	
									実績値	50	125	182	順調	176	順調	149	順調	82
26	2	3	2	<p>推進・啓発事業の開催回数（回）</p> <p>&lt;人権男女共同参画課調&gt;</p>	人権男女共同参画課	<p>◆県男女共同参画センターと共催し、父親への育児参加をテーマとした<b>子育てセミナーを初開催</b>した。</p> <p>◆男女共同参画推進団体や男女共同参画コミュニケーションと連携・協働し、<b>男女共同参画フォーラムの開催やワークライフバランスをテーマとした市内高校生への講座等を実施した。</b></p>	<p>◆父親への育児参加を促す機会づくりとして「<b>子育てセミナー</b>」をR1初開催（R2も開催）。</p> <p>◆フォーラム開催にあたり組織した実行委員会は参加団体、参加者が増えており啓発の裾野を広げることができた。</p> <p>◆若年層への啓発として、<b>市内高校生と推進会議会員とのワークショップ等を開催。参加者の世代間交流が進んだ。</b></p>	<p>◆推進・啓発事業への<b>子育て世代の参加者を増やすための手法改善を検討</b>する。</p>	目標値	-	-	4	4	4	4回		男女共同参画に係るセミナー等を16回開催	
									実績値	2	4	4	順調	4	順調	4	順調	5
27	2	3	3	<p>放課後児童クラブ登録者数（人）</p> <p>&lt;生涯学習課調&gt;</p>	生涯学習課	<p>◆社会福祉協議会への指定管理委託により、<b>市内11か所（児童館内6箇所、小学校内の余裕教室利用5箇所）において児童クラブ事業を実施</b>し、最多時には通年と長期を合わせて1,023人の児童を受け入れた。</p> <p>◆穂高北小児童クラブ室に網戸を設置し、環境整備を図った。</p>	<p>◆H27年度に三郷児童館児童クラブ室の増築、H28年度に穂高西小学校、H29年度に、豊科南小、豊科東小の余裕教室活用児童クラブ室の整備を行い、<b>H26年度から約200人の定員増を図った。</b></p>	<p>◆更なる受入体制の充実に向け検討している「<b>小学6年生までの拡大や入所要件の緩和</b>」について、各児童クラブの入所状況を見極めながら、全市一斉でなくとも<b>可能なところから進めていくための検討</b>を行う。</p> <p>◆<b>児童クラブ室を併設した（新）穂高北部児童館の建設を進める。</b></p> <p>【第2期に継承（事業）】</p>	目標値	-	-	790	810	840	850人		放課後児童クラブ3,290人登録	
									実績値	771	787	875	順調	955	順調	992	順調	1,023

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分									
							H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1		5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く		
28	2 3 4	若者・女性の起業者数（累計）（人） ＜商工労政課調＞	商工労政課	◆若者及び女性の起業支援事業による支援（35歳未満の男性及び女性が起業する場合、対象経費と店舗家賃を助成）。	◆若者及び女性の起業支援事業は28人が活用し、うち10件が空き店舗を借りて起業した。空き店舗が再活用されることによって商店街の賑わいの一端を担っている。	◆R2年度には新規申請の受付をやめ、継続分のみ補助を行うこととする。 ◆これまでの成果や政策課題を踏まえ、新たな制度の検討に着手していく。  【第2期に継承（KPI）】	目標値	-	-	5	0	0	累計5人		若者・女性の起業 5人	
							実績値	-	6	5	順調	7	順調	15	順調	19
29	2 4 1	海外ホームステイ者数（人） ＜学校教育課調＞	学校教育課	◆生徒の国際感覚等を養うため、中学2年生を対象に参加希望者を募り、その中から14名を選抜した。オーストラリアのメルボルンにホームステイするための事前レッスン（6回）やオリエンテーション（2回）を実施した。 ◆新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、2/27に渡航中止を決定。3/1に中止説明会を開催した。	◆H30年までの5回については、大きな問題もなく、また途中で断念する者もなく派遣できた。その派遣に基づく帰国報告会を開催することにより、次年度以降の参加希望者を募るPRとなつて、「ホームステイに行ってみよう」という動機づけに繋げることができた。	◆ホームステイをきっかけにして、英語への興味や積極性を引き出すため、従来の選抜方法の見直しを検討する。	目標値	-	-	14	14	14	14人派遣		ホームステイ派遣目標56人	
							実績値	12	14	14	順調	14	順調	14	順調	-
30	2 4 2	放課後学習室参加生徒数（人） ＜学校教育課調＞	学校教育課	◆家庭の経済力等に関わらず、学ぶ意欲のある子どもたちへ学習機会を提供するため市内10小学校で実施。 ◆教員経験者を中心とする学校支援ボランティアと学校職員の連携に取り組み、子どもたちの学習面でのつまづきの解消や更なる学びを支えた。（毎週水曜日開催）	◆H28年～R1年の間、市内10小学校で、のべ853名の児童が参加。学習のつまづきを解消したり、興味ある分野の学習について理解を深めるための追求ができた。また、学習支援ボランティアとして、のべ186名に協力いただいた。	◆参加希望者が増えており、学校支援ボランティアの確保が課題となっているが、意欲のある子どもを対象とした学習室であり、今後も継続実施すべきと考えている。	目標値	-	-	150	150	150	150人		放課後学習室参加者600人	
							実績値	144	156	169	順調	172	順調	181	順調	175

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分									
							H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く			
31	2 5 1	信州型自然保育を受ける児童数(人) <子ども支援課調>	子ども支援課	◆市立保育園(全18園)について、信州型自然保育認定制度に基づく保育を実施した。 ◆認可外保育施設へ補助金を交付して、取組を支援した。  ※信州やまほいく「特化型」:「3歳以上の子どもの屋外での活動時間が1週間で合計15時間以上」	◆信州やまほいく特化型により保育事業を展開する事業者の方を講師に招き、信州やまほいくに関する講義を受け自然保育の質の向上に向けた取り組みを行った。また、各保育施設等において信州やまほいくのポータルサイトを活用し、情報発信を積極的に行った。	◆今後、地域おこし協力隊を募集し信州型自然保育に係る取り組みについて情報発信を行い、認定園と連携を行いながら自然保育の推進を図る。  【第2期に継承(KPI)】	目標値	-	-	2,300	2,300	2,300	2,300人	自然保育を受ける児童数 9,200人		
							実績値	-	2,265	2,401	順調	2,348	順調	2,394	順調	2,421
32	「安心して出産し子育てできるまちをつくる」 (数値目標)	年間出生数(人) <人口動態統計(厚生労働省)>	健康推進課	/	/	◆市の出生率は県内19市中、 ・H25～H29 16番目 1.48 (県平均1.53) ・H20～H24 17番目 1.44 ・H15～H19 19番目 1.39 と低位で推移。 ◆R2.8月の総務省発表によると国内の人口も11年連続で減少(1億2427万1318人 前年比0.4%減)、減少幅も6年連続で広がっており、依然として少子高齢化に歯止めがかかっていない。 ◆出生数の向上には安心して産み育てられる社会の実現が不可欠であることから、第2期戦略においても数値目標として設定し、目標達成に向けた取組を展開する。  【第2期に継承(数値目標)】	目標値	-	-	660	660	660	660人	目標2,640人		
							実績値	707	702	643	概ね順調	641	概ね順調	600	概ね順調	612
33	「安心して出産し子育てできるまちをつくる」 (数値目標)	子育てしやすいと思う市民の割合(%) <市民意識調査>	政策経営課	/	/	◆当市の行政評価の一環として実施している「市政全般に関する市民意識調査」により継続的に進捗を把握していく。  【第2期に継承(KPI)】	目標値	-	-	55	-	-	55.0%	55%に引上げ		
							実績値	49.5	-	51	概ね順調	-	実績値なし	38.3	目標値なし	36.8

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分									
							H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く			
34	3	1	1	乳幼児健診平均受診率 (%) <健康推進課調>	健康推進課	◆健診の際に児の月齢、年齢に応じて、専門職が個別に相談に対応し、必要な場合は継続的な支援を行い、育児不安の軽減に努めた。 ◆未受診に対しては再通知や訪問等を実施。	◆児の月齢、年齢に応じて、保護者が児の発達発達について見直しをもって子育てができるように支援を行った。また、保護者に対して育児不安の軽減のための支援に努めた。 ◆未受診者に対しては、訪問等で個別に支援を行い、育児状況の確認を行った。	◆保護者が児の発達発達について見直しを持って子育てができるように、児の月齢、年齢にあわせた支援を行う。 ◆未受診の場合は、訪問や相談などで母子の健康状態の把握を行う。	目標値	-	-	96.8	97.5	97.8	98.0%	乳健受診率 98%
									実績値	96.8	96.6	98.4	順調	97.8	順調	98.6
35	3	2	1	対象者に対する経済的支援率 (%) <健康推進課調>	健康推進課	◆不妊不育症治療費の助成事業として、助成額を費用の2/3、上限額30万円を実施。 ◆H27年度からR1年度の5か年の実績では、申請件数に対して約34%の方が妊娠届を提出されている。 ◆晩婚化等により不妊・不育症治療を希望する夫婦が増加している中、経済的な負担が大きい治療費を支援することは少子化対策として有効であった。	◆今後も少子化対策として妊娠届の状況など実態を把握した上で事業を継続していく。  【第2期に継承（事業）】	目標値	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0%	申請に対し 100%助成	
								実績値	100.0	100.0	100.0	順調	100.0	順調	100.0	順調
36	3	2	2	延長保育受入数 (人) <子ども支援課調>	子ども支援課	◆延長保育を全国で実施した (7:30～8:30・16:30～19:00) ◆延長保育に必要な保育士を受入人数に応じて配置した。 ◆民間施設でも延長保育を実施できるよう必要な経費について補助金を交付した。	◆女性の社会進出の拡大、多様化する保育ニーズにより利用数は増加傾向にあったが、代替保育士等の登用等により必要な支援を行うことが出来た。 ◆幼児教育保育の無償化 (R1年10月から)により、保育の必要量を短時間認定から標準時間認定にする保護者が増えたことで、利用者は減少した。	◆今後も子ども・子育て支援法に基づき、ニーズに応じて延長保育を実施していく。  【第2期に継承 (KPI)】	目標値	-	-	9,428	9,428	9,428	9,428人	延長保育受入 37,712人
									実績値	9,154	10,093	10,921	順調	11,721	順調	11,172

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値／実績値・進捗区分											
							H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1		5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く				
37	3	2	3	児童発達支援・放課後等デイサービス利用児童数 (人) <福祉課調>	福祉課	<p>◆R1年度には児童発達支援1事業所が開設した。事業所及び相談支援専門員の選定について相談実施しながら適正な支給決定に努めた。</p> <p>※放課後デイサービス：在学中の障がい児に対して、放課後や休日、夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練、社会との交流の促進、その他必要な支援を実施</p>	<p>◆利用者、事業所いずれも増加となっている。定員数も増えているが、利用希望者の増加はそれ以上となっている。</p> <p>◆放課後デイサービス利用希望者及び事業所が増加傾向にあり、両者のマッチングの不一致による待機者について、今後検討が必要。</p>	目標値	-	-	87	92	97	100人		利用者376人		
								実績値	54	82	109	順調	146	順調	124	順調	152	順調
38	3	3	1	青少年体験型講座及びリーダー研修受講者数 (人) <生涯学習課調>	生涯学習課	<p>◆親子体験ラボや親子プログラミング教室、子ども文化祭などを開催し、延べ816人の参加があった。</p> <p>◆子ども体験ショーは、台風19号接近のため中止。</p>	<p>◆親子体験ラボや親子プログラミング教室、子ども文化祭などを開催した。</p> <p>◆より興味のある講座に参加しやすくなるよう、全庁的な夏休みの体験講座が一目で分かるカレンダーを作成し、小中学校に配布した。</p> <p>◆親子で楽しむことができ、大勢参加できる講座として、R1年から始めた親子プログラミング教室などの継続や、講座の希望アンケート等により参加者増に取り組んでいく。</p>	目標値	-	-	2,000	2,000	2,000	2,000人		青少年体験型講座など受講者8,000人		
								実績値	1,400	2,790	1,292	努力を要する	1,179	努力を要する	935	努力を要する	816	努力を要する
39	3	4	1	夜間急病センター受診者数 (人) <健康推進課調>	健康推進課	<p>◆適切な夜間急病センター利用にむけた啓発を実施した。</p>	<p>◆多くの医療機関が休診となる休日や夜間等に初期救急医療体制を整備し、応急診療を必要とする市民に適切な医療サービスを提供した。</p> <p>◆また、二次救急病院の負担軽減につなぐことができた。</p>	<p>◆地域において安心して医療サービスが受けられるよう、関係機関と連携を図りながら地域医療を充実させる。</p>	目標値	-	-	1,600	1,700	1,800	1,800人		夜間急病センター利用者6,900人	
									実績値	1,464	1,578	1,788	順調	1,660	概ね順調	1,532	概ね順調	1,258

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分											
							H26 基準値	H27	H28		H29		H30		R1	5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く		
40	3 4 2	新規相談に占める未就学児の割合 (%) <福祉課調>	福祉課	◆早期支援の必要性から「はいはいたちの相談日」を12回から18回に増やし、療育支援を行った。 ※「はいはいたち」：0～2歳までの基本的動作の指導など個別療育	◆専門職（作業療法士、臨床心理士、言語聴覚士、保健師、保育士、子ども相談員）を配置することで、未就学児の相談や事業を充実させ、支援を行うことが出来た。	◆引き続き、早期療育支援事業については、人数の増減や状況に合わせてながら、丁寧に支援をしていく。	目標値	-	-	67.0		68.0		69.0		70.0%		未就学児数/新規相談件数を70%まで引き上げ
							実績値	65.3	65.1	71.9	順調	75.9	順調	83.1	順調	83.5	順調	専門職配置により83.5%達成
41	3 4 3	公園利用者数の指標として都市公園行為許可件数 (件) <都市計画課調>	都市計画課	◆安曇野市公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の改修・更新を行い、健全な状態の保持に努めた。 <R1行為許可の例> ・スポーツ関連(各種スポーツクラブ活動、大会)：70件 ・小中学校、認定こども園等の行事(遠足、運動会等)：38件 ・駐車場として使用：32件	◆三郷文化公園体育館の大規模改修を実施し、安心・安全に利用できるようになり、また「第36回全国都市緑化信州フェア」の安曇野市サテライト会場として、多くの来場者を迎えた。	◆今後も引き続き市民の憩いの場である公園施設の計画的な改修・更新を進める。	目標値	-	-	190		197		204		許可件数204件		都市公園行為許可件数795件
							実績値	186	147	173	概ね順調	197	順調	195	概ね順調	202	概ね順調	実績767件
42	3 4 4	交流場所利用者数 (人) <文化課調>	文化課	◆穂高及び豊科交流学習センター、明科公民館で乳幼児親子を対象としたコンサートを開催した。 ◆図書館では、乳幼児から参加できる親子を対象としたおはなし会や講座など親子で参加できる事業の充実に努めた。	◆H30年度より、「0歳からのミニコンサート」を開催。 ・H30:4回 参加者数627人 ・R1:3回 参加者数495人(4回目は感染症拡大防止のため中止) ◆おはなし会は、定着しており図書館の利用促進につながっている。	◆引き続き、利用促進に努める。	目標値	-	-	450,000		450,000		450,000		利用者45万人		図書館・交流学習センター利用目標180万人
							実績値	437,677	487,330	445,747	概ね順調	482,280	順調	559,553	順調	528,987	順調	利用実績2,016,567人(順調)

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値／実績値・進捗区分											
							H26 基準値	H27	H28		H29		H30		R1		5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く	
43	「いきいきと暮らせるまちをつくる」 (数値目標)	健康寿命（男性）（歳） ＜長野県公表値＞	健康推進課			◆市町村別の健康寿命は、近年公表されていないため、 <b>第2期からは数値目標を変更</b> する。なお、健康寿命の延伸については総合計画前期基本計画で重点施策として位置付けられているため、継続推進を図っていく。 ＜参考＞H30.4厚労省公表「H27年市区町村別生命表」安曇野市の平均寿命 男性81.1年、女性87.7年（全国 男性80.8年、87.0年） ※平均寿命は5年おき公表	目標値	-	-	-	-	-	-	-	男性79.46歳		男性79.46歳まで延伸	
							実績値	78.95	-	未発表	実績値なし	未発表	実績値なし	未発表	実績値なし	未発表	-	未発表
44	「いきいきと暮らせるまちをつくる」 (数値目標)	健康寿命（女性）（歳） ＜長野県公表値＞	健康推進課			No43のとおり。	目標値	-	-	-	-	-	-	-	女性84.04歳		女性84.04歳まで延伸	
							実績値	83.82	-	未発表	実績値なし	未発表	実績値なし	未発表	実績値なし	未発表	-	未発表
45	「いきいきと暮らせるまちをつくる」 (数値目標)	住み続けたいと思う市民の割合（%） ＜市民意識調査＞	政策経営課			◆当市の行政評価の一環として実施している「市政全般に関する市民意識調査」により継続的に進捗を把握していく。  【第2期に継承（KPI）】	目標値	-	-	70.0	-	-	-	-	70.0%		70%まで引上げ	
							実績値	66.2	-	85.3	順調	-	実績値なし	68.5	目標値なし	72.2	順調	直近R1実績 72.2%

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分											
							H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1		5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く				
46	4	1	1	介護予防のための自主活動グループ数（グループ） ＜介護保険課調＞	介護保険課	<p>◆R1年度は地域の自主活動グループ1団体より立ち上げ支援の依頼があり10月より半年間支援し、R2年度より地区体操教室に移行した。</p> <p>◆未把握の地区活動グループの情報収集を行い、希望者には自主活動グループを紹介した。前年度に引き続き、従前から活動しているグループに対し相談助言等の支援を行った。</p>	<p>◆住民主体の地区体操教室の立ち上げ支援や、活動中の既存の地区体操教室の情報収集を行い、R1年度末の自主活動グループ数を255団体を把握した。高齢者が気軽に地域で集え、介護予防に資する活動に取り組める場の提供ができた。</p>	<p>◆自主活動グループ立ち上げについてノウハウを提案する等、活動に関する支援を行う。</p> <p>◆高齢者の保健事業との一体化実施に向け、通いの場でのフレイル予防の取り組みを広めていく。</p> <p>◆引き続き、介護予防事業を開催するとともに、生活支援コーディネーターや長寿社会課生涯学習課とも連携を図りながら地域にある既存の自主活動グループを調査、リスト化し希望者に情報提供する。</p>	目標値	-	-	170	180	190	200グループ		目標200グループ	
									実績値	148	156	201	順調	213	順調	217	順調	255
47	4	1	2	がん検診（胃・大腸・子宮・乳房）受診率（%） ＜健康推進課調＞	健康推進課	<p>◆受診率向上に向けて検診の周知、未受診者に対して個別通知等で受診勧奨をした。</p> <p>◆がん検診推進事業として女性検診の対象者（特定年齢）に無料クーポン券を配布した。</p> <p>◆肺がんCT検診は、H30年度より休日（土曜）検診を設けて受けやすい検診体制にした。</p>	<p>◆各種がん検診の受診率向上のため、検診の周知・個別通知等で受診勧奨に努めたが、集団で実施している検診の受診率は減少し、検診全体の受診率は22.5%であった。</p> <p>◆がん検診推進事業として特定年齢に無料クーポン券を配布し、個別検診として実施している女性がん検診（子宮頸がん検診・乳がん検診）の受診率は増加し受診率は向上した。</p> <p>・子宮頸がん検診 H27：3,202人→R1：3,903人</p> <p>・マンモ・乳房超音波 H27：3,177人→R1：3,613人</p>	<p>◆各種がん検診の指針に基づき、必要な年齢層の受診率向上に向けて周知・啓発に努める。</p> <p>◆検診後、要精密検査者が適切に医療受診等ができるよう対応する。</p>	目標値	-	-	22.0	23.0	24.0	26.0%		がん検診受診率26%まで引上げ	
									実績値	19.2	20.9	22.8	順調	23.8	順調	22.5	概ね順調	22.5
48	4	1	3	特定保健指導実施率（%） ＜国保法定報告＞	健康推進課	<p>◆総合戦略の目標設定後、国保データヘルス計画を策定し、R1年度目標を52%と設定（国が示した目標値をもとに算定。R5時点で60%まで引上げ）。</p> <p>・特定保健指導対象者に対して、個別に訪問又は面接を行い実施（実602人）。専任職員を引き続き1名採用し対応。</p> <p>・保健指導台帳を作成し、月1回進捗管理を実施し、実施率向上に努めた。</p>	<p>◆特定保健指導実施率は、H27年度41.6%であったもののH30年度は52.3%であり、10.7ポイントの伸びであった。（R1年度実施率はR3年秋頃公表予定）</p> <p>・H29.2市医師会と連携して「安曇野市糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定し、医療機関との連携を図りながら保健指導を実施している。</p> <p>・保健指導実施に伴い、人工透析新規導入者数、糖尿病コントロール不良者数、市国民健康保険における脳血管疾患の総医療費に占める割合がそれぞれ減少し、発症予防及び重症化予防による健康寿命の延伸と医療費等社会保障費の適正化に努めた。</p>	<p>◆実施率だけではなく、健康な生活習慣を認識し、自らが取り組める生活改善の実施のための支援を強化する。</p>	目標値	-	-	57.0	60.0	60.0	60.0%		目標実施率60%	
									実績値	47.4	41.6	49.5	概ね順調	46.2	努力を要する	52.3	概ね順調	未発表

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分									
							H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く			
49	4	1	4	<p>幼児期（3歳）において大人と一緒に朝食を食べる子供の割合（%）</p> <p>&lt;健康推進課調&gt;</p>	健康推進課	<p>◆母子保健事業の各健診、相談、教室等の機会に個別、集団で「食」についての働きかけを実施。</p> <p>◆H27年度は93.1%で、その後は順調な伸びであったが、H30年度は91.6%、R元年度は91.3%とやや減少してきている。</p> <p>◆母子保健事業の各健診、相談、教室等の機会に「食」について働きかけを行い、家族の状況、家庭の形態が多様化しており、個々に合わせた支援も行った。</p>	<p>◆第3次安曇野市食育推進計画に基づき、母子保健事業において食育の推進に取り組む。</p>	目標値	-	-	94.1	95.1	96.1	100%	幼児期に大人と一緒に朝食目標100%	
								実績値	94.1	93.1	94.2	順調	95.4	順調	91.6	概ね順調
50	4	2	1	<p>市内の交通事故発生件数（暦年）（件）</p> <p>&lt;警察発表&gt;</p>	地域づくり課	<p>◆ライフステージに応じた段階的かつ体系的な交通安全教室を開催した。</p> <p>◆高齢者等の運転免許証自主返納者に対して、デマンド交通「あづみん」の乗車回数券を交付した。</p> <p>◆安曇野警察署、安曇野交通安全協会等関係団体と協働して街頭啓発、高齢者宅家庭訪問等を実施しました。</p>	<p>◆当初想定した目標値には達しなかったものの、R1年には市内における交通事故発生件数は、市発足以来最小の発生件数となり、交通事故の総量抑制を図ることができた。</p> <p>◆65歳以上の運転免許証の保有者が年々増加傾向にあるところ、運転免許証自主返納支援事業が市民に周知され、支援申請者は大幅に増加した。</p>	<p>◆高齢者対象の交通安全教室（訪問型、参加・体験・実践型）、個別家庭訪問事業の実施及び運転免許証自主返納支援事業を推進し、総合的な高齢者交通安全対策を図る。</p> <p>◆認定こども園、幼稚園、小・中学校で理解力に応じた交通安全教室等を開催し、子どもの交通安全対策を図る。</p> <p>◆安曇野警察署、安曇野交通安全協会等の関係機関・団体と連携し、街頭啓発活動を通じて市民の交通安全に対する意識向上を図る。</p>	目標値	-	-	338	307	279	254件	発生件数1,178件に抑制
									実績値	389	434	446	努力を要する	375	努力を要する	388
51	4	2	2	<p>土砂災害危険個所存在区における避難体制づくりの取り組み率（%）</p> <p>&lt;監理課調&gt;</p>	監理課	<p>◆潮沢区において、懇談会、役員会を開催し、マップ作成をし、リーフレットを配布した。</p>	<p>◆土砂災害に対するソフト対策として、地域の特性に配慮した警戒避難体制を構築し、避難マップを活用した避難訓練等が実施されている。</p> <p>※総合戦略上16区が対象し、7区が実施</p>	<p>◆土砂災害を防ぐには、ハード対策と併せて警戒避難体制の整備などソフト対策の充実が必要であることから引き続き対象地域に事業周知を図っていく。</p> <p>【第2期に継承（KPI）】</p>	目標値	-	-	9.0	19.0	34.0	50.0%	対象16区中8区で避難体制を構築
									実績値	3.0	6.2	12.5	順調	18.8	概ね順調	37.5

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分									
							H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1		5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く		
52	4 2 3	区への加入率 (%) <地域づくり課調>	地域づくり課	<p>◆転入手続き時に区加入促進パンフレットを手渡し、区について説明することで加入を促した。また、区ごとに紹介カードを作成し、案内に役立てた。</p> <p>◆まちづくり推進会議で「区の意義や重要性の理解促進」についてR2年2月に検討結果を提言書にまとめ市へ提出し、各主体へ課題解決に向けた実践の依頼をした。</p> <p>◆宅建安曇野会に協力いただき、加盟店において取引があった際に、区加入促進パンフレットの配布を依頼した。</p> <p>◆移住セミナーで区についての説明機会を設けた。</p> <p>◆啓発に役立てるとともに区を身近に感じていただけるよう、マスコットキャラクターを作成した。</p>	<p>◆世帯分離・老健施設の増により、加入世帯は増加したが加入率は低下という現象が生じた。</p> <p>◆市区長会では「区加入促進マニュアル」を作成し区の意義や重要性の理解促進の検討を行いました。</p>	<p>◆転入時に、「区加入促進パンフレット」「区紹介カード」等を用いて区について説明し加入を促す。</p> <p>◆転入者だけでなく未加入者の加入促進。</p> <p>◆宅建安曇野会、移住セミナー等との連携を行う。</p> <p>◆「区の意義や重要性の理解促進について」市区長会専門部会等において検討し、多くの市民に理解していただけるよう取り組む。</p> <p>【第2期に継承 (KPI)】</p>	目標値	-	-	79.9	80.0	81.0	82.0%		区への加入率目標82%	
							実績値	77.0	76.7	76.1	概ね順調	74.9	概ね順調	74.7	概ね順調	73.6
53	4 3 1	立地適正化計画の策定 <都市計画課調>	都市計画課	<p>◆計画に位置付けられた届出制度による事務を実施した。</p> <p>※居住誘導区域外で住宅に係る開発行為・建築等行為や都市機能誘導区域外で誘導施設に係る開発行為・建築等行為を行う場合は、一部を除き市への届け出が必要となる。</p>	<p>◆人口減少下における、行政コストの抑制と暮らしやすさの維持向上に向け、「コンパクトシティ・アンド・ネットワーク」を推進するための計画をH30年4月、策定した。</p> <p>・市内5か所において市民説明会を開催した。また、パブリックコメントを実施し計画策定を進め、平成30年2月20日付で計画公表を行った。</p> <p>・計画では、5つの中心拠点（拠点市外区域）、居住を誘導する区域（居住誘導区域）、都市機能を誘導する区域（都市機能誘導区域）、誘導施設等を定めた。</p>	<p>◆今後も引き続き届出制度の周知を図り、円滑な運用を進める。</p> <p>【第2期に継承 (KPI)】</p>	目標値	-	-	-	-	-	計画を策定		立地適正化計画の策定	
							実績値	未策定	予備調査	検討	順調	策定	順調	運用	順調	運用
54	4 3 2	幹線道路整備計画中の要歩道整備 延長 (メートル) <建設課調>	建設課	<p>◆幹線道路整備計画や地元要望に基づき、緊急性・必要性・投資効果など勘案し優先順位の高い路線から順次整備を進めている。</p> <p>・整備済延長 L=883m</p>	<p>◆H27年度からR1年度において、17路線の歩道整備を行い、歩行者の安全を確保することができた。</p>	<p>◆R2年度以降も市道穂高1級6号線（穂高交流学習センターみらいの西側）や市道豊科1級24号線（豊科北小学校の北側）の歩道整備を計画的に実施することで、歩行者の安全の確保に繋げていく。</p>	目標値	-	-	105,580	106,225	106,870	107,500メートル		3,838メートル延長	
							実績値	103,662	104,935	106,390	順調	106,841	順調	107,080	順調	107,963

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値／実績値・進捗区分												
							H26 基準値	H27	H28		H29		H30		R1		5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く		
55	4 3 3	空き店舗活用件数（件） ＜商工労政課調＞	商工労政課	◆空き店舗等活用促進事業による家賃補助（家賃相当額の1/2、月額上限5万円、交付期間2年）。	◆空き店舗等活用促進事業の活用は62件（うち9件は経営不振等で閉店）。	◆空き店舗等活用促進事業は、補助終了後の定着率等を考慮し、R1年度から交付期間を2年、R2年度には1年に縮減。 ◆これまでの成果や政策課題を踏まえ、新たな制度の検討に着手していく。  【第2期に継承（事業）】	目標値	-	-	38		39		42		42件		空き店舗の活用 42件	
							実績値	32	38	40	順調	47	順調	55	順調	62	順調	延62 件支援	順調
56	4 3 4	燃えるごみ排出量（グラム／人・日） ＜廃棄物対策課調＞	廃棄物対策課	◆ごみ・資源物収集カレンダー、ごみ分別アプリケーションによる分別方法の広報並びに環境学習会、出前講座による分別方法の周知 ◆緑のリサイクル事業による家庭から出る剪定枝の資源化	◆スマートフォン等で、収集日や分別方法が確認できるアプリ「さんあ〜る」をH30年2月より配信を開始し、H31年3月には「家庭用資源物・ごみ出し方の手引き」を4年ぶりに更新しました。 ◆その他、毎年配布するごみ・資源物収集カレンダー等による周知により、市が推進している3R（リデュース・リユース・リサイクル）が実行されたことで、目標値には届いていないが、ごみの分別が定着してきたと考えられます。	◆もえるごみの中に含まれる、食品ロスの削減に向けた取り組みを行う。	目標値	-	-	367		364		361		340グラム		基準値373グラムから333グラム 減量	
							実績値	373	370	373	努力を要する	375	努力を要する	370	努力を要する	375	努力を要する	2グラム 増加	努力を要する
57	4 3 5	明科駅前整備（%） ＜都市計画課調＞	都市計画課	◆周辺道路の補償調査及び用地交渉・契約を進めたほか、情報案内板整備検討などの業務委託及び、龍門湖公園・あやめ公園のトイレ改修等の工事に着手した。	◆H28年から1年間をかけて、計6回の住民懇談会を開催し、駅周辺のまちづくりのあり方をまとめた「明科駅周辺まちづくり計画」を策定した。 ◆当該計画で定めたまちづくりのテーマである「明科が持つ自然や産業を活用し、みんなが安全に暮らせるまち」を目指し、コンパクト、安全、自然に着目し、安曇野市の東の玄関口にふさわしい一体的な整備に着手した。	◆R4年度事業完了に向け、国道19号明科駅前歩道整備事業と連携し、事業を促進する。  【第2期に継承（事業）】	目標値	-	-	-		-		-		着手		明科駅前整備 に着手	
							実績値	-	構想策 定 着手	計画策 定（公 表）	順調	-	順調	3	順調	23	順調	国事業 と歩調 を合わせ 執行中	順調

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分									
							H26 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く			
58	4 3 6	1日平均利用者数(人) ＜政策経営課調＞	政策経営課	<p>◆運行事業者、運行管理者、市、市民代表により、定期的に会議を開催。寄せられた苦情や直面した問題等について解決すべく話し合いを行った。</p> <p>◆市内70歳以上の世帯に対し、あづみん利用促進のDMを送付した。</p> <p>◆市内65歳以上の方、1350人に対し「あづみんの利便性と免許返納後の交通手段」についてのアンケート調査を実施した。</p> <p>◆市外利用者を増加させるべく、市内JR駅舎待合室内への「あづみん」紹介チラシの設置した。</p>	<p>◆H30年度実施の運行時間統一による運行効率向上により、予約断りの件数が減少傾向となった。</p> <p>◆飛び地運行の一部導入により、利用者の利便性が向上した。</p> <p>◆アンケートの実施により、高校生の定時定路線バスへのニーズ、デマンドに対する市民ニーズ、免許返納に対する市民の考え方の把握ができた。</p>	<p>◆把握したニーズやアンケート結果の整理を行い、R2年度の網形成計画中間評価及び見直しに反映させることで、今後より利便性が向上する運行ができるようにする。</p> <p>【第2期に継承(事業)】</p>	目標値	-	-	370	390	410	420人		平均利用者数 420人まで延伸	
							実績値	371	357	351	概ね順調	348	概ね順調	353	概ね順調	361
59	4 3 7	県・国レベルのスポーツ大会の開催件数(件) ＜生涯学習課調＞	生涯学習課	<p>◆第3回スティングス杯小学生バレーボール大会、2019年度長野県高等学校総合体育大会新体操大会兼第64回長野県高等学校新体操選手権大会、第37回全日本レディースバドミントン選手権大会長野県予選会など26件の大会が開催された。</p>	<p>◆各年度において様々な大会が開催され、目標が達成された。なお、開催件数の減少は、市内の大会(市民の利用)との調整によるもの。</p>	<p>◆新総合体育館が供用開始となれば、県・国レベルの大会は増加する見通しとなっている。</p> <p>【第2期に継承(KPI)】</p>	目標値	-	-	24	25	25	25		開催件数目標 99件	
							実績値	21	23	38	順調	35	順調	36	順調	26
60	4 4 1	公共施設利用率(貸館に限る)(%) ＜貸館所管課調＞	総務課	<p>◆公共施設10年計画を作成し、今後の公共施設のあり方(保有面積の圧縮)を示し、後10年間に更新時期を迎える施設をまとめた10年計画案を作成した。</p>	<p>◆83施設で指定管理者制度を導入し、質の高いサービス提供に努めた。また、公共施設再配置計画の下、保有面積を2076年までに32.9%削減する目標に対し、2019(R1)現在で14.7%であり、10年計画案により施設の統廃合を計画的に進めることができたが、統廃合の成果として利用率の向上には繋がるまでには至らなかった。</p>	<p>◆行財政のスリム化に向けた各課へのヒアリングの中で向こう10年間の施設の改修及び更新予定を調査。</p> <p>・「譲渡又は廃止」を予定している施設について、早期から利害関係者への説明を行い、理解を得るよう促していく。</p>	目標値	-	-	2%増 (43.2%)	5%増 (46.2%)	8%増 (49.2%)	H27実績比 10.0%増 (51.2%)		H27実績比 10.0%増 (51.2%)	
							実績値	-	41.2	39.11	努力を要する	38.55	努力を要する	39.93	努力を要する	39.08

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI管理表

No	施策区分	数値目標・KPI	担当課	R1取組内容	第1期総括 (H27～R1における主な成果)	今後の方針	目標値/実績値・進捗区分													
							H26 基準値	H27	H28		H29		H30		R1	5か年総括 ※H27は目標設定がないため原則除く				
61	4	4	2	市税現年収納率 (%) <収納課調>	収納課	◆税負担の公平性と自主財源確保の観点から毅然とした態度で業務を行い、収納率の確保・向上を図るために、より綿密な年間計画に基づき滞納整理（差押による強制換価処分等）を実施した。  ◆左欄のとおり。	◆税負担の公平性と自主財源確保の観点から毅然とした態度で業務を行い、機能分担制により収納率の確保・向上を図る。	目標値	-	-	98.9		98.9		98.9		98.9		市税現年収納率98.9%を維持	
								実績値	98.9	99.1	99.2	順調	99.3	順調	99.3	順調	99.3	順調	99.3	順調
62	4	4	2	実質公債費比率 (%) <財政課調>	財政課	◆予算編成の基本方針に従い財政の健全化に努めた。 ※「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき算定された健全化判断比率を構成する比率の一つ  ◆目標とした10.5以下の数値を維持することができ、地方債運用等、継続的な健全財政運営を維持することができている。	◆行財政のスリム化等の取り組みを進め、健全財政の堅持に努める。	目標値	-	-	10.5		10.5		10.5		10.5		実質公債費比率10.5%に改善	
								実績値	11.7	10.5	9.6	順調	9.4	順調	9.3	順調	9.5	順調	9.5	順調